

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170400915		
法人名	株式会社 ほくおうサービス		
事業所名	グループホーム ほくおう (1F ポプラ)		
所在地	札幌市西区西野8条4丁目10番12号		
自己評価作成日	平成23年11月4日	評価結果市町村受理日	平成24年1月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症の方が混乱しないで普通の生活を送ることができるようにすることを何よりも優先します。認知症の方が「心身の痛みを緩和し」「心を癒し」「生活に満足できる」ように導きます。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigochoo-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170400915&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3番地北1条ビル3階
訪問調査日	平成23年12月5日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

札幌市西区西野の大きな通りに面した3階建て3ユニットからなるホームは、利用者の生活歴や入居前の趣味や習慣などから、個別のきめ細かな対応を行っています。利用者のそれまでの生活継続のためにできる支援を法人本部とも協力しながら行い、安全で穏やかな生活を実現しています。また、職員の研修に力を入れ、職員全体の知識や技術を高めることにより、質の高いケアを目指しています。地域に対してもホームのもつ専門性を還元し、地域向けに高齢者ケアに関する勉強会を開くなどの取り組みを行いながら、地域との連携を深めています。町内会や近隣の学校など、地域との信頼関係も深く、小学校の発表会見学や地域行事への参加、また、子どもたちの訪問を受けるなど、利用者が地域の様々な年代の人と関わりながら、日々の生活が送れるよう工夫しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づいて、日々実践の中で実現していけるよう取り組んでおります。	理念をホーム内に掲示しています。職員の採用時に経験や知識に合わせて、具体的なケアで実践できるよう説明しています。また、職員がケアの場面で理念について、理解できるよう意識付けしています。	理念には、地域密着型サービスとしての内容は盛り込まれていません。すでに地域との交流を実践し、利用者の日々の生活の充実や非常時の体制も構築していることから、ホームとしての地域との関わりを盛り込むことを期待します。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	定期的に町内会、近隣小学校の行事参加、児童会館の子供達との交流会の場を作り地域の方達との交流を深めています。	町内会行事や子供との交流などの機会を多く持てるよう、ホームとして、様々な連携や利用者の支援を行っています。地域から温かく見守られながら、利用者がいろいろな世代の人と出会い、楽しい時間を過ごせるよう取り組んでいます。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方達には避難訓練参加により実際に車椅子の使用法の講習と実体験していただき、近隣小学校でも講習を開催、ホームでのおやつ作りや定期的に歌声喫茶を開催することで地域の方達との交流の場を作り活かしています。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で評価内容を報告し、ご家族・地域の方達からもご意見を伺い、サービス向上に取り組んでおります。	運営推進会議は定期的開催し、全家族に案内を送っています。また、出欠の返事の際に、欠席する場合でも意見を記載できる様式を送っており、家族からの意見を広く収集しながら、会議を行っています。議事録も家族に送付し、透明性を高めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	回数は少ないですが、管理者会議に出席し各担当者と情報交換を行い、サービス向上に取り組んでおります。	ホームで適正な運営と、利用者本位のケアを行うため、包括支援センター等との日頃からの連絡や、適宜相談を行える関係を築いています。また、利用者の生活向上のため、行政に対して提案も行うなど、相互の立場から意見交換を行っています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホーム全体で身体拘束をしないケアに取り組んでおります。	内部研修を通じて、職員一人ひとりが身体拘束をしないケアを推進しています。玄関の施錠は夜間帯のみ実施し、利用者が閉塞感を感じないように、日常的な外出や外気浴などを取り入れています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修にて外部講師を招き講習会を開催し知識の習得、事業所内でも常時虐待防止に努めております。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修にて外部講師を招き講習会を開催し知識の習得、活用できるよう支援しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退去時他、直接ご家族様には書面かつ口答での説明を行いながら確認していき十分な時間を設け理解・納得を図っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会の際、推進会議にご家族様に参加していただき直接意見を伺ったり、玄関前にご意見箱を設け運営に反映させております。	毎月の請求書の発送時に、利用者一人ひとりの生活の様子を伝えています。また、面会時やホームから電話をした際など、利用者の状況を伝えながら、家族の意向を引き出しています。2ヵ月毎の運営推進会議の出欠の返事などに、自由に意見を記載する欄を設け、ホームとして意見を収集する努力を重ねています。	ホームでは、利用者及び家族へのサービスの向上に精力的に取り組んでいますが、更なる意見の汲み上げが、推進力の一つになると考えられます。今後、無記名アンケートの実施や、テーマを絞った意見の収集など、意見を表出しやすい場面作りの工夫を期待します。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議、ユニット会議で職員の意見提案を聞き日々の業務の中においても意見反映を努めております。	毎日の申し送りやミーティングの際など、職員から意見を出しやすいようにしています。また、個別面談も行い、処遇など個別の事項にも配慮しています。各ユニットの管理者だけでなく、その職員が話しやすい他の職員を通じて、意見を吸い上げ、必要がある場合には法人本部と連携して運営を行っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的に社内試験の実施、課題分析を行い目標を設定することでスキルアップを図っております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修、外部研修、社内研修他、フロア内でのフォローアップ研修も行い実践の中で随時指導を行い質の向上に努め、人材育成に取り組んでおります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市や区主催の勉強会に参加し、ホーム同士の交流を設け自他共に向上を努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談時、入居前には見学していただいたり、ご本人と事前に面会、会話を図りご家族や担当者とも密に詳細を確認し不安解消を図れるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前には、日常の様子を見学していただき、相談や要望、ご家族の意向も伺い信頼関係作りに努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族よりお話を伺い生活を送る中で必要としている支援を見極め課題を分析しケアできるよう努力しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に生活する中で共に喜怒哀楽を感じ、人生の先輩として入居者様からも学ばせていただく姿勢を大切にしています。互いに理解を深め信頼関係を築けるよう支援しております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の喜ばれた事や表情、どんな事に困ってどんな援助をし、どのようになったかをご家族にお伝えしています。場面に応じご家族に協力していただけることを取り入れ生活に張り合いが持てるよう支援しております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方との面会や交流、ご本人が好まれる場所、外出には快く満足ができる支援ケアに努めております。	知り合いへの季節の挨拶状などの支援や、家族等と協力しながら、利用者が好きだった場所や思い出の場所に出掛けられるようにしています。また、お寺参りなど、利用者が大切にしている習慣も継続できるようにしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	他者との交流が難しい場合は職員が仲介をし孤立感が生じないよう環境を整え円滑な交流が図れるよう支援に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	近隣、地域でお会いした際にはお話を伺ったり、電話等での相談にも誠意を持って対応しております。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を活用することで入居者様の思いや生活歴を把握し、ご本人主体のケアを実践しております。	日頃の生活の中から、利用者の思いや意向を大切に した情報をセンター方式のアセスメントに随時加えています。職員同士で共有し、希望の実現ができるように介護計画の策定に結びつけています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族、入居者様より入居前の暮らしについて情報をいただき生活に反映できるできるよう支援しております。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	全スタッフで日々確認振り返りを行い生活状況を毎日記録し、問題点やニーズについては計画書にも盛り込み月1回は全スタッフで話し合い現状把握に努めております。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にご家族、ご本人から意向を伺い、計画作成担当者を中心にケアカンファレンスを開き、プラン反映、毎月モニタリングを記載していき、半年毎に定期見直しを行いスタッフ全員がその内容を共有し実施しております。	介護計画は、安心して暮らすという観点だけでなく、利用者の生活歴や好きなことに基づき、得意なことや趣味の継続なども盛り込まれています。生活上の困難なことに対しても、職員が検討を重ね、家族の意向も取り入れながら、利用者が望む生活の実現を目指しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	計画書にのっとった評価と生活状況の記録を毎日記録し介護計画の見直しに活かしております。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	馴染みの場所、地域での活動にも参加していただいています。畑作り、近隣への買い物等フロア内での生活に限らず場面に応じた対応を図っております。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防とも連携を図り避難訓練では地域の方にも参加していただき協力を得、定期的に町内の方、近隣小学生との交流会を開催しています。			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、歯科の定期的な往診や看護師の訪問で日常の医療管理を強化しています。特変時には速やかに対応を図り状態経過観察報告をご家族へ行い必要に応じ医師からの説明等も行ってまいります。	ほとんどの利用者は、ホームの往診医を利用しています。入居前からの主治医の診察を受ける場合には、家族に対し、ホームでの生活状況や健康状態を伝え、医師と情報が共有できるよう支援したり、必要に応じて職員が受診に付き添っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週看護師の訪問にて身体状況報告・相談を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には安心して治療が受けれるよう詳細を説明、一覧をお渡しし経過状況確認、情報交換に努めております。退院後も生活に支障がないよう医療機関と密に連携を図り、入退院に備えております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時には重度化した場合の対応についてご家族と、お話をしています。また急に状態が急変悪化しホームでの生活が困難になった場合も医師、ご家族、本人と話し合いながら納得のいく方法を検討しております。	ホームでは、看取りを行っていないことを契約時に伝え、重度化や終末期にどのような対応を行うかを、あらかじめ家族と話し合っています。医療機関との連携も図り、必要な支援を医師との話し合いのもと、実施できるようにしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルの作成、消防署より救命講習を受け、応急手当、初期対応の訓練を受けております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署の協力のもと避難訓練を実施し地域住民の方にも参加協力体制を図っています。避難方法を体得する意味で月1回夜間想定防災レクリエーションを実施しております。	年2回の避難訓練の他に毎月「避難レク」を行い、職員や利用者が、慌てずに確実に安全確保ができる方策を身に付けています。また、地域との協力関係も運営推進会議などを通じて構築し、法人全体で非常時の協力体制を作り上げています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊敬の念を持って接し、言葉使いに配慮しております。謙虚な姿勢を心がけています。	職員は、内部研修や外部研修で人格の尊重について学び、折に触れて話題に取り上げています。日頃のケアの中で、接遇やプライバシーについて考え、実践できるようにしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者一人一人に合わせた関わり方を心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人一人の気分や状態に応じ、本人らしさを大切に支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回、訪問理美容を希望により、カット・パーマ・カラーの好みご本人の希望を尊重しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご本人が可能な限りスタッフ支援のもと家事に参加、食卓は皆で囲み食事が楽しみとなるよう雰囲気作りにも努めています。	給食委員会で利用者の希望などを伝え、法人の栄養士が献立を作成しています。調理の得意な利用者が腕を振ったり、職員が味付けのアドバイスを受けたりしながら、食事の準備をしています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士指導のもと栄養バランスの良い食事提供と、水分摂取量は記載確認し把握に努めた支援をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月2回、歯科往診ケアの実施指導を受け毎食後にケア実施しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご本人それぞれの排泄習慣、排泄パターンを把握し身体状況に応じた排泄方法を無理ないよう支援しております。	仕草や表情などから、トイレのサインを見逃さず、トイレへの誘導を行っています。医師と協力し、下剤の調整を行ったりしながら、できるだけトイレで排泄し、清潔に過ごせるように配慮しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の食事管理と乳酸菌の提供、体操等の運動を取り入れたり、病状に応じ腹部マッサージも行い便秘予防に努めております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者のその日の体調や気分に応じて入浴していただいています。その時の状態に応じた対応支援をしております。	入浴日は決まっており、週2回となっていますが、時間帯は決めておらず、利用者の希望に沿って入浴できるようにしています。風呂上がりの楽しさを提供したり、楽しい気分で入浴できるようにしています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ソファや、お部屋のベッドなど希望、状況に応じた対応を図っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報に関しては常に確認のできる場所に綴じ必要時には確認しております。薬剤師による講習会にも参加し知識向上にも努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者の趣味や個性、得意性を活かせるよう生活の中に取り入れ張り合いが持てるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所のコンビニ、ドラッグストアを活用する事で顔馴染となったり、定期的に外出行事を企画、またご家族の協力を得ながら昔馴染みの場所へも行くことができるよう入居者の状態に応じて希望が叶えられるよう支援しています。	ホームの家庭菜園や外気浴など、閉じこもりがちにならないように、利用者が外に出る機会を設けています。また、近隣の商店に日用品を買いに、散歩がてら出掛けたりしています。ホームの車両の他に法人のリフト車なども活用し、利用者の外出の希望にえています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理をできる方には、お小遣いの管理をさせていただいています。買い物の際には一緒に確認し支払い代行、状態に応じた対応を図っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時、状態に応じていつでも支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先や共有スペースには花や観葉植物を置き、アクティビティ時には季節感を取り入れた貼り絵等の作品を作りフロア内に飾っております。また室温や光の調整にも配慮しております。	1階はゆったりとしたスペースを活かし、ミニデイサービスも行っています。ピアノや大型画面のテレビを使ったアクティビティも実施しています。ユニット毎に広い共用空間があり、広々とした居間や小上がり、廊下に置かれたソファなどで、思い思いに過ごすことができます。温度や湿度も管理され、快適に過ごせるように配慮しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食卓テーブルやソファ、カウンターでもくつろげるよう工夫を図り入居者によっては馴染みの場所ができています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご希望によりご家族の写真や大切にされていたもの、ご使用になられていた家具等をご持参いただき居心地の良い環境作りに努めています。	入居前の環境に近づけたり、健康状態に合わせた模様替えや、災害時に危険がないかなどのチェックを行っています。利用者が安全に暮らせるよう、また、一人ひとりの好みに合わせた居室となるよう支援を行っています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	センター方式を活用したり、日々の生活状況を把握してできる事、わかる事を見極め自立支援に努めています。		